フジイ

除雪機購入チャンス

初雪フェアで安全講習も

フジイコーポレーション（藤井大介社長）は12月3・4日、除雪機の展示会「初雪スノーロータリーフェア」を新潟県魚沼市の道の駅いりひろせで開催した。同社では、除雪機による事故防止を目的に、無料の安全講習会を実施しており、他社商品のユーザーも受講可能なことから雪国に生きる中小企業ならではの発想が地域住民から高い評価を獲得している。

フジイコーポレーション＝新潟県燕市小池285＝は、豪雪地にあるメーカーとして、エッジの効いた企業活動を行う考えから、数年来続けている除雪機の安全講習会を更に活発に行っていく予定だ。同社では、除雪機を販売するだけではなく、販売後も除雪機を購入したユーザーが安全に除雪機を使用できるよう購入後の安全講習にも注力している。

昨年の大雪では例年より多くの除雪事故が起こり、除雪機事故は安全機能が付いていない古い除雪機の使用中に発生しているケースが多い。このため、同社では事故なく除雪機を使用するためにも安全機能の充実した新しい除雪機への買い替えを推奨。今回の初雪スノーロータリーフェアでは、豪雪地に適した除雪機を多数取り揃え、今年品薄傾向にある除雪機購入のチャンスとなる。

また、初雪フェアでは、無料の除雪機安全講習も実施し、除雪機事故を防ぐために除雪機の安全な使い方をシーズン前に改めて再確認することができる。

除雪機事故の主な原因は、除雪部に手を入れることと、除雪部に巻き込まれることの2つで事故原因の7割近くとなる。安全講習では、除雪機に備わっている安全機構の説明や除雪機事故を防ぐための基本事項の説明や注意喚起を行う。

同フェアは、12月10・11日に道の駅雪のふるさとやすづか（上越市安塚区樽田141）でも開催する予定。

さらに、同社では地元小学校への出前安全講習なども行っている。最近では局所的なドカ雪が増え、事故に巻き込まれるケースも増えている。雪国で生き抜くための必需品として除雪機の重要性を再認識し、安全利用の啓蒙・啓発活動を継続するため、出前安全講習は近隣からの要望にも出来るだけ応えていく考えだ。

展示会の様子

安全講習の様子

FUJII